

## 酒田港港湾脱炭素化推進計画の概要 (1/2)

令 和 6 年 3 月 (令和7年3月変更) 山 形 県

#### 1 背景

令和2年8月に、2050年までに温室効果ガス実質排出ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050」を宣言



- 令和 4 年11月に港湾法が改正され、港湾の官民関係者が一体となって脱炭素化の取組を推進するための枠組みとして「港湾脱炭素化推進計画」制度が創設
- ・県の脱炭素社会の実現に貢献するため、「酒田港港 湾脱炭素化推進計画」を作成

## 3 方針

## (1) 脱炭素化の促進

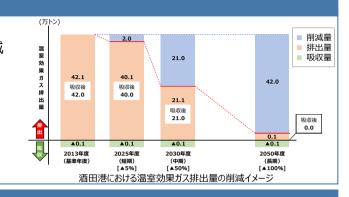
- ① <u>再生可能エネルギー電力および次世代エネルギーの利用</u>
- ▶ 設備・モビリティ等の電動化と使用電力の再エネ化、 水素燃料化、合成燃料等の利用
- ② 温室効果ガス吸収作用の保全・強化
- ➤ ブルーインフラの再生・創出・保全と、港湾緑地の造成・保全
- (2) 脱炭素化に資する港湾の効果 的な利用の推進
- ③ 再生可能エネルギー発電設備の導入拡大
- ▶ バイオマス発電や洋上風力発電などの導入拡大
- > 発電の燃料や部材等の増加に対応する港湾の利用
- ④ 次世代エネルギーの供給拠点化
- ▶ 再生可能エネルギー電力等を活用した水素等の製造
- ▶ 海外・国内から水素等を大量輸送するための受入環境整備

### 2 計画期間·目標

•計画期間:2050年度まで

•目標:酒田港の臨港地区における温室効果ガス排出量の削減

目標 (KPI)	基準年度 (2013年度)	短期 (2025年度)	中期 (2030年度)	長期 (2050年度)
CO <sub>2</sub> 実質排出量	42万トン	40万トン	21万トン	0トン
削減率 (2013年度比)	-	<b>▲</b> 5%	<b>▲</b> 50%	▲100%



#### 4 将来の構想







# 酒田港港湾脱炭素化推進計画の概要 (2/2)

次世代バイオディーゼル供給事業 【カメイ除】

令 和 6 年 3 月 (令和7年3月変更) 山 形 県

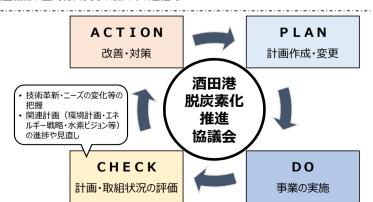


#### 7 評価等の実施体制

酒田港脱炭素化推進協議会にて、計画の進捗状況を確認・評価し、計画の見 直しを検討する。

基地港湾の整備【国土交通省・山形県(港湾管理者)】

- 【協議会構成員】
- · 有識者、港湾関係民間事業者、港運事業者、東北地方整備局、環境エネルギー部、産業労働部、 · 県土整備部、庄内総合支庁、酒田市、遊佐町



### 6 ロードマップ

